

# 米沢市学校給食検討委員会第6回委員会 議事録

日時 令和2年12月21日(月)

開会 午後2時30分

閉会 午後4時00分

場所 置賜総合文化センター  
教育委員室

## 1 出席委員

委員長	山田 英明	委員	丸川 信明	委員	井上 和弘
委員	安部 一博	委員	田畑 広志	委員	田中真由美
委員	佐藤 朋江	委員	蓮沼ちえ子	委員	佐藤由美子

## 2 出席職員

教育管理部長	渡部 洋己	教育指導部長	今崎 浩規
教育総務課長	小田 浩昭	教育総務課長補佐	米原 裕美
教育総務課総務主査	佐藤 真英	教育総務課施設主査	玉虫 弘之
学校教育課長	山口まゆみ	学校教育課長補佐兼保健給食主査	金子いく子
学校教育課適・適室長	樋口 進一	学校教育課長補佐兼指導主査	小山 克成
学校教育課学校財務主査	安部 裕子	学校教育課保健給食担当	高橋 紀子

## 3 会議次第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 協議
  - (1) 第5回委員会議事録の確認
  - (2) 米沢市学校給食検討委員会報告書(案)について
  - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉会

## 協 議

### ○委員長

(1) 第5回委員会議事録の確認について、何かお気づきの点や意見等はないか。  
意見等がないようなので、(2) 米沢市学校給食検討委員会報告書(案)について、事務局から説明。

### ○学校教育課長

————— 資料に基づき説明 —————

## ○委員長

米沢市学校給食検討委員会報告書（案）について項目ごとに検討する。

「1 米沢市学校給食検討委員会について」については、なぜこのような検討委員会を設置する必要があったのかなど記載されている。文言等について意見はないか。

「1 米沢市学校給食検討委員会について」は特に意見等はないようなので、次の「2 本市学校給食のあり方について～学校給食で大事にして欲しいこと～」について、文言修正等はないか。

## ○委員

(4) 子ども達を優先したきめ細やかな対応のところ、「リクエストメニューやバイキング給食等も採り入れること」とあるが、工夫して行っているのはこれだけではないので、強制的な文言ではなく、幅広い感じのする表現が良いのではないか。

## ○委員長

(1) から (6) まで、すべて「こと」と体言止めにしている。ここだけ変えるのは文体としてはおかしいと思うが、確かに、リクエストメニューやバイキングに限定したものではないと思う。どのようにしたら良いか。

## ○委員

第5回の資料では、「学校給食を教材として活用した食に関する指導の充実」の中にリクエストメニューが入っていた。リクエストメニューやバイキングは、ただお楽しみのためだけにやっているものではないので、「(2) 学校給食を教材として活用した食に関する指導の充実」の中に、「リクエストメニューやバイキング給食等を入れ、食についての正しい理解、健全な食生活を営むことのできる判断力、望ましい食習慣を養うための教材とすること」としてはどうか。

指導充実のために、リクエストメニューやバイキングを実施していきたいと思っている。

## ○委員長

(2) に入れるとしても、指導の充実の一環としてリクエストメニューやバイキングを採り入れ、学校給食の教材として活用するというような文言になるのか。

## ○委員

採り入れることが目的ではなく、採り入れ、それを基に何をするかを後ろに入れれば、同じ文章としてまとめられると思う。

「リクエストメニューやバイキング給食等を採り入れ、食についての正しい理解、健全な食生活を営むことのできる判断力、望ましい食習慣を養うこと」というのはどうか。

もしくは、今回の(2)では、すべて「育てること」となっているので、「望ましい食習慣を育てること」というのはどうか。

## ○委員長

食習慣を養うための教材の部分を、食習慣を育てることとして(2)に入れると、(4)が1項目になるがどうか。

## ○委員

1項目でも問題ないと思う。

## ○委員長

(2) 学校給食を教材として活用した食に関する指導の充実の部分に、「リクエストメニューやバイキング給食等を探り入れ、食についての正しい理解、健全な食生活を営むことのできる判断力、望ましい食習慣を育てること」と入れて良いか。

異議がないようなので、他に意見はないか。

## ○委員

(3) の食物アレルギー対応についての項目を読むと、すべての子どもが給食を食べられるかどうかという意味にとられる。この委員会では、安全に提供できるかどうかが論点だったと思うので、「すべての子ども達が給食を安全に喫食することができる」としたほうが良いと思う。

(1) の検収、保管、調理、配送、配食等それぞれの過程において、「衛生管理の徹底をすること」を、「衛生管理及びアレルギー対応を徹底すること」とすれば、(3) とリンクしてよいと思う。

(6) の「調理師等の労働環境を整えること」は、このままだと、なぜ整える必要があるのかという部分が足りないと思うので、「調理師等の体調管理に則した労働環境を整えること」とするのが良いと思う。

## ○委員長

(1) について、「検収、保管、調理、配送、配食等それぞれの過程において、衛生管理及びアレルギー対応を徹底すること」に修正しても良いか。

アレルギーの食材の取り扱いについて注意することも含め、言葉を出したほうが、より徹底するのではないかという意見だと思う。

異議がないので、衛生管理だけではなく、アレルギー対応についても徹底して欲しいということで、文言を付け加える。

(3) については、「すべての子ども達が給食を安全に喫食することができる」に修正しても良いか。

異議がないようなので、そのことが除去食や代替食につながっていくということで、「安全に」を付け加える。

(6) について、「調理師等の体調管理に則した労働環境を整えること」に修正しても良いか。

異議がないようなので、「調理師等の労働環境を整えること」だと漠然としているので、特に今の現場は温度管理が難しいということで、労働環境としてはあまりよくない状況ということもあるので、「体調管理に則した」を付け加える。

次に、「3の本市学校給食の実施方法について」何か意見等はないか。

## ○委員

経緯が書いてあり中身はわかるが、最終結論を「これらの意見を統合すると、本市の学校給食のあり方として自校給食が最も望ましい。自校方式ができない場合においては現在実施している親子方式の継続が望ましい。一方、教育活動を確保しながら安全安心な学校給食を提供するためには、給食センター方式も検討すべきである。また、状況によって

は、全校を同じ方式とするのではなく、最適な方式を選択し組み合わせることも有り得るとの結論に至った。」とすると、これまで検討した中では、自校方式が一番望ましいという意見が突出していたのが全面に出てこない。一般の方がこれを読むと、1番、2番、3番という順番の結論が出たとしか読めないので、検討して欲しい。

#### ○委員長

自校給食が良いということについて、検討委員会の中で時間をかけて話してきたと思うが、どのような文言にすればより膨らむか意見をいただきたい。

#### ○委員

今の意見に賛成。より強調する方法としては、「本市学校給食のあり方として①自校方式が最も望ましい、②自校方式ができない場合においては、」として強調する。「一方、」からは別の内容なので改行し、そこは丸付けしない。文言の追加は難しいと思う。

#### ○委員長

「教育活動を確保しながら」の部分について、以前、検討委員会において委員から、今後規模が変わり生徒数が増えた場合の中学校の校地校舎の意見があったと思うがどうか。

#### ○委員

報告書(案)の2の(5)に「統合後の中学校においては、現在より大人数の子ども達が活動することを念頭におくこと」とあるように、校地内に施設を造ることについては、十分検討する必要があると改めて感じた。

#### ○委員長

子ども達の活動の場をきちんと確保することを最大限考えていただきたいという意見もあったため、「一方、教育活動を確保しながら安全安心な学校給食を提供するためには」と「一方」という文言を使い、並びではなく文章を切り替えている。

学校なので教育活動に支障をきたすようなことは最大限避けなければならない。確かに、給食も生きる教材ということで教育の一環ではあるが、それだけではなく他の教科の教育活動も担保できなければならない。

よって、「①自校方式が最も望ましい、②自校方式ができない場合においては現在実施している親子方式の継続が望ましい。」とするのは、着目するポイントとして有効だと思うが、それについてはどうか。

#### ○委員

思いとしては、「これまでも続けてきた自校方式をこれからも続けていく」という結論のほうが、より強調されると思う。

「安心安全な給食を提供するために給食センター方式を検討すべきである」とあるが、これは抜いて、具体的に「敷地確保が困難な場合は給食センター方式も検討する」としたほうが良いと思う。

#### ○委員長

確かに、安心安全な学校給食と給食センター方式がイコールになることはないかもしれないので、敷地確保ができない場合が給食センター方式を選択する理由とする。

ただ、「これまで続けてきた自校方式をこれからも続けていく」とすると、現在、自校方

式だけではなく親子方式も実施しているのでそぐわないのではないかと。

#### ○委員

自校方式が重点目標であるという言葉は見つけにくい。

#### ○委員長

「①自校方式が最も望ましい、②自校方式ができない場合においては現在実施している親子方式の継続が望ましい。一方、教育活動を確保しながら学校給食の敷地確保ができない場合は、給食センター方式も検討すべき」というような文言にするなど、給食センター方式は敷地確保ができない場合に限定するという意見だったと思うがどうか。

#### ○委員

小学校は自校方式と変わらないと思うので、これまでやってきた小学校での自校方式を小中学校ともに自校方式にするというのはどうか。

#### ○委員長

「①小中学校ともに自校方式が望ましい。②自校方式ができない場合においては現在実施している親子方式の継続が望ましい。一方、敷地の確保ができない場合は給食センター方式も検討すべきである。」とするのはどうか。

#### ○委員

小学校の校長会で、現在、人数と環境の両面においてぎりぎりの状態で実施しており、今後の統廃合等で食数が増えた場合は、より困難になることが予想される。したがって、適正規模・適正配置を見据え、公設民営、外部委託などあらゆる選択肢をもって現在の課題の解決にあたっていただきたいという話があった。

現在の課題の解決というのは、例えば、小学校では親子給食の配送のときに安全確保が懸念されることがある。また、小中学校が一斉に給食センターになった場合、小学校での調理の必要がなくなるので、学校としての負担が減る。中学校のみが給食センターになった場合、小学校については自校給食になり、1回の調理で済むので、より一層安全面を考慮した給食の提供ができる。教頭が行っている調理師確保等の業務の負担軽減ができるなど、給食センターにすることで、課題解決が図れるものもあると捉えている。

したがって、自校給食で隣で調理をしているのも良いが、それができない場合は、さまざまな課題を解決することができる方式も検討していただきたい。つまり、次に親子方式というよりは、給食センター方式についても並列で検討していただきたい。

現在抱えているさまざまな課題が、センター方式によってクリアできることもあると考えており、次に親子方式というのではなく、親子方式もセンター方式も並列で、敷地確保が困難な場合や、現在抱えている課題の解決が困難な場合は、給食センター方式もあり得るといような並列的なニュアンスの文言を入れていただきたい。

#### ○委員長

2の(5)の施設設備の整備に「食材の搬入や配送に際しては、安全な運送と経路の確保を行うこと」と入れたのは、現場で危険だという認識が強いからだと思う。

現場ではさまざまな課題があるので、課題解決が困難な場合は、小学校も中学校も自校方式だけではなく、自校方式や親子方式、給食センター方式など、さまざまな方式を検討して

欲しいという意見だったと思う。

そうなると、敷地の確保ができないこと、または、現在さまざまな課題があり、その解決が困難な場合はセンター方式も検討すべきであるというように、現在課題があるということも意見として出されているので、報告書に文言を入れて欲しいという意見があったかどうか。

### ○委員

最後に「全校を同じ方式とするのではなく、最適な方式を選択し組み合わせることも有り得る」とあるように、小学校と中学校では違う部分があり、全校同じ方式ではなく分けて考えたほうが課題解決はしやすい部分があると思っている。

中学校からしてみると、現在親子方式で小学校から給食が配送されるので、センターでも同じなのかとを感じる部分がある。

一律に同じ方式にするのではないということ優先順位として前に持ってきたほうが良いのではないかと思う。

### ○委員長

学校教育の現場としては、自校のありがたみもあるが、特に中学校においてはセンター方式と親子方式では違いがあまり感じられないようだ。

「最適な方式を選択し組み合わせることも有り得る」ということで、一律に同じ方式にするのではなく、学校によって最適な方式を取り入れることが有り得ると、最終的に出てくるのかと思う。

一方の中で、教育活動を確保し、学校給食を提供する敷地が確保できない。または、現在さまざまな課題があり、その解決が困難な場合は給食センター方式も検討すべきであるというように、現在課題を抱えているということは委員会の中でも出たので、報告書の中にも入れるということで良いか。

### ○委員

「1の学校給食検討委員会について」のところ、「再編統合にあたり今後の学校給食のあり方を検討する必要があることから」の一文だけで終わっているが、実際には委員会の中で再編統合するにあたりどのようなことが課題になるのか、現在どのような課題があるのか話し合ってきたと思う。その課題を受けてどのようにしていきたいか、何を大事にしていきたいかについて、「2の本市学校給食のあり方について～学校給食で大事にして欲しいこと～」にあげたと思う。3の実施方法については、2の大事にして欲しいことを中心にまとめが書かれているようだが、課題を解決するためには、例えば、自校給食ではいろいろなことが整えば課題が解決でき良いのだが、自校給食が場所の問題や設備の問題等できないとなった場合、本当に親子方式が望ましいのか、親子方式が2番目だったのか。話し合いの中では、親子方式も考えなければならないし、給食センター方式も考えていかなければならないということだったと思う。

自校方式が望ましいというのは同じ考えだと思うが、親子方式も給食センター方式も課題を解決するためには選択していかなければならないと思う。具体的な課題について記載されていないが、委員会において課題を明らかにし、実際にはどうなるのか検討し

てきたということがわかる報告書にしたいと思う。

#### ○委員

1の検討委員会についてのところに課題を盛り込んだほうが良いのか、それとも検討していく中でさまざまな課題があげられたということで、3のところに、実際にそれを解決するための実施方法ということに切り替えるのか、どちらが良いか。

事務局としては、1については検討委員会が設置された背景と流れなので、中身については、2や3の中で書いたほうが良いのか。

#### ○教育指導部長

1に検討委員会をこのような経緯で設置したということ盛り込んでいるので、そこに課題等を入れると、内容がうまく伝わらなくなると思う。1についてはこのままにさせていただき、「本市における解決すべき課題について」の項目を1つ追加し、そこに今までの話の内容を入れ、解決にあたって検討した結果ということで3につながっていくのではないかと思うがどうか。

#### ○委員長

2番の後に1項目増やし、本市における解決すべき課題を入れる。学校教育課長から説明があった(別紙)調理方式別比較表の中の「本市の状況・課題」として課題をあげているので、それを文章化する。その中にさまざまな課題を入れ、それを解決することがどの方式を選択するかにつながっていくという流れになるがどうか。

課題をはっきりしたほうがわかりやすいと思うので、資料の3が4になり、新たに3として「本市における解決すべき課題について」あげたいと思う。

#### ○委員

課題を別にあげるのは良いが、現在の3にもメリット・デメリットがある程度あげられているのでダブってくると思うがそれで良いのか。同じ内容を二度あげる部分も出てくるということか。

#### ○委員長

「現状の課題とともにそれぞれのメリット・デメリット等を基に」については、まとめれば、「本市の課題に関してそれを解決するために検討を行い意見が出された」というような文言に修正すればダブらないと思う。

ここにはメリット・デメリットの内容については書かれていないので、大きくダブルことはないと思うがどうか。

#### ○委員

現在の3の5行目から10行目くらいまでは、メリット・デメリットとしての文言があげられている。この部分を抜いて実施方法についてまとめていただければ良いと思う。

#### ○委員長

別紙を見ると、課題のほうにはメリットは書かれていない。

#### ○委員

メリット・デメリットはどのような方式でもあるのはわかるが、話し合において、自校方式が一番望ましいという結論に至ったメリットをあげ、自校方式が最も望ましいという結

論の項目をあげればわかりやすいと思う。

自校方式が最も望ましいとなった経緯がわかるように結論を書かなければ、話し合いの結論の意味がなくなると思う。課題等すべて出すのは良いが、最も望ましいとなった部分についてまとめればわかりやすいと思う。

#### ○委員長

「自校方式は、」から自校方式のメリットがあげられているが、「これらの意見を統合すると、」の部分に近いところにあげれば、より分かりやすいという意見か。

#### ○委員

1番に自校方式が望ましいという結論に至っているので、そこに至る経緯がなければわからないのではないかと思う。

#### ○委員長

他に意見はないか。

#### ○教育指導部長

今ご意見をいただいた内容をもとに、2のあり方においてはこのような学校給食を目指して欲しいという意見を、次の項目では解決すべき課題をあげ、その両面から考えたとき、自校給食が最も望ましいという結論になった。しかしながら、自校方式が難しい場合は、このような給食であって欲しいという意見を生かしつつ、課題解決を図るべく別な方式も検討すべきであるというような構成にするのはどうか。

#### ○委員長

「自校方式が最も望ましい」という結論の前に、自校に至った理由がなければわかりにくいという意見だったと思うが、事務局からは、課題の部分を入れて、あり方と課題を解決する方式としてということで整理するという提案もあったがどうか。

あり方には、現状はこうだからこのようになって欲しいということが入っている。現在の課題はこういうもので、それらを加味すると自校方式が最適だという結論に至ったというまとめ方だと思う。しかしそれについては、設備や経費に関して検討していないが、本検討委員会で出された内容について汲み取ってもらいたいという流れ。

私は、「自校方式が最も望ましい。」の前に何もなくても読み取れると思うがどうか。

#### ○委員

賛成。

#### ○委員長

そのようなことで内容について修正したいと思うが、事務局としてはどうか。

#### ○教育指導部長

今すぐ修正することは難しいので再度検討して、修正したものを委員の方に郵送し御意見をいただく。いただいた御意見を加味し、委員の確認を経て報告書をまとめたいと思うがどうか。

#### ○委員長

皆さんの御意見をいただきながら修正し、その内容については一任させていただいても良いか。

**○委員**

委員長に一任すれば、最終的な報告書の内容は委員にはわからないということか。

**○委員長**

最終的に報告書は郵送する。

一任いただけるということで良いか。

**○委員**

はい。

**○委員長**

その他について何かないか。

**○学校教育課長**

(別紙) 調理方式別比較表について修正した箇所がある。

施設整備に関することの親子方式の部分の調理施設が「工場」扱いのためのところ、前回補足説明させていただいたとおり、制約はそのままあるが、但し書きにより不可能ではないということで、×を△に修正した。併せて、自校方式の「学校敷地内に給食室を設置する」がわかりにくいので、「給食室を設置する敷地の確保が必要になる」に修正した。また、給食センター方式の「農林課と協力し地産地消の取組みをする」について、協力するのは農林課だけではないので、「多い食数に対応できる地産地消の取組みをする」と修正した。

**○委員長**

別紙について一部修正があった意見等あるか。

特にないようなので、協議を終了する。

**4 その他**

**5 閉会 16:00**